

👉 G A P の取組 (個別認証)

<http://www.komedanouen-daikon.com/> <http://www.komedanouen-ninjin.com/>

こめだ農園

GLOBALG.A.P.

にんじん

<基本情報>

所在地：熊本県西原村

労働力：夫婦、両親、正社員3名、外国人技能実習生1名、パート6名

<農場概要>

栽培面積：25ha（にんじん18ha、だいこん7ha）

<経営理念>

「消費者ニーズに応じた野菜づくり、儲かる農業の実現」



<G A P の取得のきっかけ>

取引先との契約条件

2016年 GLOBALG.A.P.取得
(にんじん 18ha)

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆生産履歴等の管理

- ・ほ場管理等の記帳、ほ場地図の作成

◆労務管理

- ・外国人技能実習生が理解できる契約書や作業マニュアルの作成
- ・従業員との意見交換、議事録の作成

◆リスクの把握（食品安全、農作業安全等）

- ・ほ場等の危険箇所の把握及びリスク対応策の考案

【農業者の声】

GAP導入1年目は、農薬や農機具の整理整頓等、労働環境の整備に苦労した。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆取引先との契約を優先的に継続

◆リスク管理の徹底

- ・従業員が作業場やほ場で衛生面に気を配るようになり、**より安全で安心な農産物の提供につながる**

◆整理整頓や生産履歴の記帳でコスト削減

- ・整理整頓により、作業場が整理され、**作業効率がアップ**
- ・農薬や肥料の在庫管理で**無駄な支出減少**
- ・生産履歴等の管理により、**従業員への情報共有を効率化**



👉 **GAPの取組**
(個別認証)

(株) 下巢畑農産



JGAP

だいこん・かんしょ

<基本情報>

所在地：熊本県阿蘇郡小国町下城2701

構成員：7名（役員2名、従業員5名）

栽培面積：夏だいこん 4ha（延べ面積）、かんしょ 3ha

【経営理念】

「こだわりの土づくりで育てた土もの野菜は、阿蘇の高冷地ならではの寒暖の差により、おいしく育つ。土づくりから野菜生産、商品化まで一貫して行う、安全・安心な商品（根菜類、さつまいもの加工品）を提供する。」



<GAP認証取得のきっかけ>

○6次産業化に取り組んだものの、販売先がなく厳しい状況の中、友人からGAPを知らされ、GAPは、**農業におけるISO**であり**重要**だと気付かされた。

⇒ **令和元年9月 JGAP認証取得**

<GAP認証取得で苦労したこと>

○整理整頓や農薬の有効期限の徹底など、**これまでとのギャップ**に、**周囲の理解をなかなか得られず苦慮**。

○120におよぶ審査項目のクリア



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

○生産工程や販売履歴のデータを蓄積・保存することにより、過去の記録から、過去の失敗を繰り返さない他、経営の見える化にも繋がった。

○**圃場管理**が徹底され、**無駄のない投薬、施肥**となり、**労働時間の短縮**や**経費が削減**された。

○食品企業や卸、外食産業との契約取引により、計画が増加し**経営が安定**した。

「今後の意向」

○**ASIAGAP認証を取得し、輸出**を含めた販路拡大。

○青果物と加工品のセット販売を目指す。HACCPの取組も強化して行う。

<問合せ先>

TEL : 0967-32-8117

<https://gezubatake.com/>



👉 **G A Pの取組**
(団体認証)

J A熊本うき生姜専門部会 G A P 研究会

JGAP

しょうが

<基本情報>

所在地：熊本県宇城市

構成員：50名（部会全体は138名）

品目：しょうが、G A P 認証品の取扱量：1,600トン（部会全体の約6割）

<経営理念>

農家主体の組織運営で、継続的なG A Pの取組みを目指す



<G A Pの取得のきっかけ>

取引先からの要請と同時期にうき生姜専門部会に青年部が発足し、役員と青年部を中心に認証取得の機運が高まった

⇒ **平成30年8月 J G A P 団体認証取得**

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆ 部会内の合意形成

- 最終目標は専門部会全体での認証取得としつつも、G A P 取得を強制的に強いるのではなく、希望者がG A P 認証取得に取り組むこととし、役員や青年部が周囲に働きかけ

◆ 記録作成と整理整頓

- 作業日誌の記録方法等の研修会を開催
- 青年部を中心に26名がJ G A P 指導員基礎研修を受講。その中から責任者を決め、部会を6班に分けて倉庫の巡回点検を実施



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

■ 販売価格への反映

- 未取得者よりも販売単価がアップし、G A P 認証にかかる経費を相殺。また、出荷規格もより良い条件で販売することが可能になった

■ 整理整頓や生産履歴の記帳でコスト削減

- 作業場が整理され、作業効率がアップ。また、農薬や肥料の在庫管理で無駄な支出が減少した

■ 部会員間の結束強化

- 年輩農業者への助言を青年部を中心に行ったことにより、世代を超えた生産者間の情報交換が活発化し、部会員間の結束が強まった

青年部でみんなを引っ張ってます！

<今後の課題>

- 部会内での内部監査員養成と内部監査の効率化
- 現在は県やJ A も一緒に取り組んでいるが、最終的には部会で全て完結できるようにしたい



連絡先：TEL 0964-8383-5303

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

(有) 村川商店／(有) 熊本有機農産

ASIAGAP

人参・たまねぎ・ばれいしょ・南瓜・ほうれん草・キャベツ・白菜・だいこん

<基本情報>

所在地：熊本県熊本市東区戸島町2479

構成員：14名（役員2名＋従業員2名＋実習生10名）

栽培面積：4.5ha（にんじん2ha、たまねぎ0.8ha、ばれいしょ0.3ha、
南瓜0.2ha、ほうれん草0.2ha、（キャベツ、白菜、だいこん）1ha）



【経営理念】

- 安心、安全な新鮮野菜の提供・生産農家の育成・適正利潤の確保。
- お客様との信頼と会社内の人的信頼関係を基礎に、安全な野菜の普及を目的として、この熊本の地より全国に新鮮でおいしい野菜の提供を具体的、実現的に実施していくことを、基本理念とする。

<GAP認証取得のきっかけ>

- 東京2020オリンピック・パラリンピックへの食材提供を狙う。

ASIAGAP認証取得 ⇒ 平成30年2月

<GAP認証取得で苦労したこと>

- リスク評価に対応した施設整備や整理整頓の徹底
- 作業工程・衛生マニュアルの作成
- 書類作成に苦慮し、結果、**事務専門職員を配置**。
- 審査時の質問には、即答が求められ冷や汗。
- 全ての作業について記録を行うことなど、**従業員によるデータ管理の習慣付け**。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- GAP認証取得により、取引先からの信用度が格段に**アップ**。

○生産から出荷までのトレーサビリティが明確になり、国内スーパーに安全・安心なものを出荷できるようになった。

「今後の意向」

- 輸出量を拡大し、国内販売量を縮小。
- JAS認証（無農薬・無化学肥料・安心・安全・美味しいやさいの栽培を目標）を取得予定。



問合せ先: TEL 096-380-8663
<https://www.murakawashoten.com>

合同会社オーガニックファームZERO

ASIAGAP

人参・ばれいしょ

<基本情報>

所在地：宮崎県児湯郡新富町
 構成員：正社員4名、パート3名
 栽培面積：5.5ha
 ※2008年有機JAS認証取得



【経営理念】

安全安心な食の供給の担い手として、また持続可能な環境保全型農業の実践者として、農業を通じて、社会・地域に貢献します。

<GAP認証取得のきっかけ>

○ 世間で、安全・安心の関心が高まる中で、自信をもって農産物を消費者へ届けるためには、**有機JAS以外にも、明確な基準を持つ認証が必要**であると思った。



【ASIAGAP取得のきっかけ】

○ **海外への販路拡大**も視野に入れていたため、GFSI承認の国際規格であるASIAGAPを取得した。
ASIAGAP認証取得 ⇒ 2020年4月
 ※GFSIとは、グローバルに展開する小売業者・食品製造業者等が集まり、食品安全の向上と消費者の信頼強化に向け発足した組織

<GAP認証取得（更新）で苦労したこと>

- 申請の書類作成が大変。
- 認証（更新）に関する審査費用が高額。

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 「安全・安心ナンバーワン」の農家を目指しており、GAPの認証取得は、**目標達成のための明確な基準**となった。
- 従業員の意識改革により、**農作業事故の未然防止**や、**作業効率向上**に繋がった。



<今後の意向>

これまで以上に「食の安全・安心」を消費者に届けていきたい。
 ※令和3年6月に「有機米農家 おにぎり宮本」を開店。



<問合せ先>

TEL 0983-33-3450

<https://www.organicfarmzero.com>

👉 **GAPの取組** 株式会社 **ローソンファーム鹿児島** **(個別認証)** ～ 環境に配慮し、地域に根ざした安心・安全な農業を実践 ～

JGAP

だいこん、にんじん、かんしょ

＜基本情報＞

所在地：鹿児島県肝属郡東串良町

設立：2011年4月

構成員：役員2名、社員1名、外国人実習生7名

資本金：500万円

＜経営概況＞

栽培面積：だいこん6ha、にんじん2ha、かんしょ1ha・・・GAP認証作物
キャベツ4ha、ごぼう2ha、（水稻栽培も検討中）

＜経営の理念＞

株式会社ローソンファーム鹿児島は、**安心・安全な食の供給者として、持続可能な環境保全農場の実践者として、農業を通じて社会・地域に貢献します。**



ローソンファーム鹿児島の片平代表

＜（株）ローソンファームにおけるGAP取組みの考え方＞

1. 消費者の皆様へ安心・安全な生鮮品を食べて頂きたい。
2. ローソングループでは、自社農場で安心・安全な青果物の生産を行っていることを消費者にアピールしたい。
3. 農業の産業化を行い、地域雇用を発生させ、地方創生を行いたい。

上記を実践するためには、労働環境を整え、働きやすい職場にする必要があることから、

2014年11月、ローソンファーム社長会にて、JGAPが日本の農業に最も適した生産工程管理と位置づけ、ローソンファームでのJGAP導入を決定!!

（株）ローソンファーム鹿児島は、2016年8月、JGAP認証を取得

＜GAP取得で苦労したこと＞

- 圃場が点在しているため、紙ベースでは作業記録の管理が煩雑。このため、市販の栽培管理ソフトを活用し対応
- 従業員への周知
 - ・収穫から出荷までのルールを事務室に掲示
 - ・作業前や作業時に、その日作業する圃場の危険ポイントを伝達

＜GAPの効果＞

- 従業員が安心して働ける環境整備 ➡ 従業員の事故ゼロ
- 農薬の飛散防止を徹底
- 異物の混入防止を徹底
- 農薬等資材の適切な在庫管理 ➡ コストの削減

-（株）ローソンファーム鹿児島の目標-

（株）ローソンファーム鹿児島は、JGAPを導入し、良い農業の実現を宣言します。

- ① 安全で、安心な、農作物を消費者にお届けします。
- ② 環境に配慮した農業を心がけ、地域と調和した事業を推進します。
- ③ 効率的な農業生産を行い、原価低減に努めます。
- ④ 従業員の安全と福祉に気を配った農業を推進します。



（株）ローソンファーム鹿児島の4S活動

整理・不要なものは捨てる
整頓・必要な物の整理分類
清掃・身近なところをきれいに清掃し、「見える」ようにすること
清潔・清掃することできれいな状態を保ち、「汚れ」ないようにする

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

農業生産法人 (有) 片平農産

JGAP

だいこん

<基本情報>

所在地：鹿児島県曽於郡大崎町永吉2381-1
構成員：30名（役員4名、従業員24名、パート2名）
栽培面積：だいこん 35ha

【経営理念】

より良い農業、より良い会社経営の維持のため、環境と人に
優しい農業を展開し、ただ農業をするだけではなく、地元の雇用
拡大や遊休農地解消を通して社会貢献を図る。

「土づくり、ものづくり、人づくり」



<GAP認証取得のきっかけ>

○鹿児島県版GAP（K-GAP）を13年前から取得していたが、**レベルアップと取引先からの要望**によりJGAP認証取得。

⇒ **令和元年2月 JGAP個別認証取得**

<GAP認証取得で苦労したこと>

- 従業員がGAPの取組に対して同じ認識になるまでに時間を要した。
- 適合基準を定着させるための意思統一。
- 作業中のデータ入力及び管理の徹底。
- リスク評価に関する対応策の資料作成。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 審査の受験が、従業員の自発的な学習や意識向上に繋が**り、従業員教育的にも良かった。
- 従業員から、作業上の注意喚起を発するようになり、事故防止、農薬使用、肥料の使用に対する意識改革ができた。
- 販売先との**契約取引が増加**。

「今後の意向」

- 輸出**を視野に入れた**販路拡大**。
- ASIAGAPの認証取得**。



<問合せ先>

TEL：0994-63-1117

<https://www.katahira-nousan.com/company>